

昭和三十六年二月十五日提出  
質問 第七号

ジェット飛行機の騒音防止に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和三十六年二月十五日

提出者 中村高一

衆議院議長 清瀬一郎 殿

## ジェット飛行機の騒音防止に関する質問主意書

最近、米軍及び自衛隊並びに民間ジェット機の性能が強化されて、その爆音は人体に及ぼす影響の極限を越え、附近の住民は安眠できず、学校教育に支障をきたし、電話はもちろん談話すら聞えず、日常生活に各般の支障をきたしている。

一 政府は、次の諸点についていかなる措置を考えているか伺いたい。

- (イ) ジェット機自体に消音装置を施させること。
- (ロ) 野外のエンジン・テストを中止し、完全な防音装備を施させること。
- (ハ) 学校、幼稚園、保育所、病院等の附近及び民家に国費をもつて防音工事を施すこと。
- (ニ) 近接住民がやむなく他地区に移転する場合、補償措置をなすこと。

二 政府は、「基地等の環境整備の調査委員会」を設置するというが、その時期、機構、経費、運

營方針いかん。

右質問する。